

中期財政見通しのポイント



平成23年10月
福知山市

目次

- 1 概要
- 2 歳入の推移
- 3 一般財源の推移
- 4 実質的な地方交付税の推移
- 5 歳出の推移
- 6 義務的経費の推移
- 7 収支状況の推移
- 8 基金残高の推移
- 9 市債残高の推移

1 概要

■ 目的

普通会計の歳入、歳出及び基金残高、公債費残高がどのように推移していくかを推計し、中長期視点に立った計画的財政運営を進める。

■ 期間

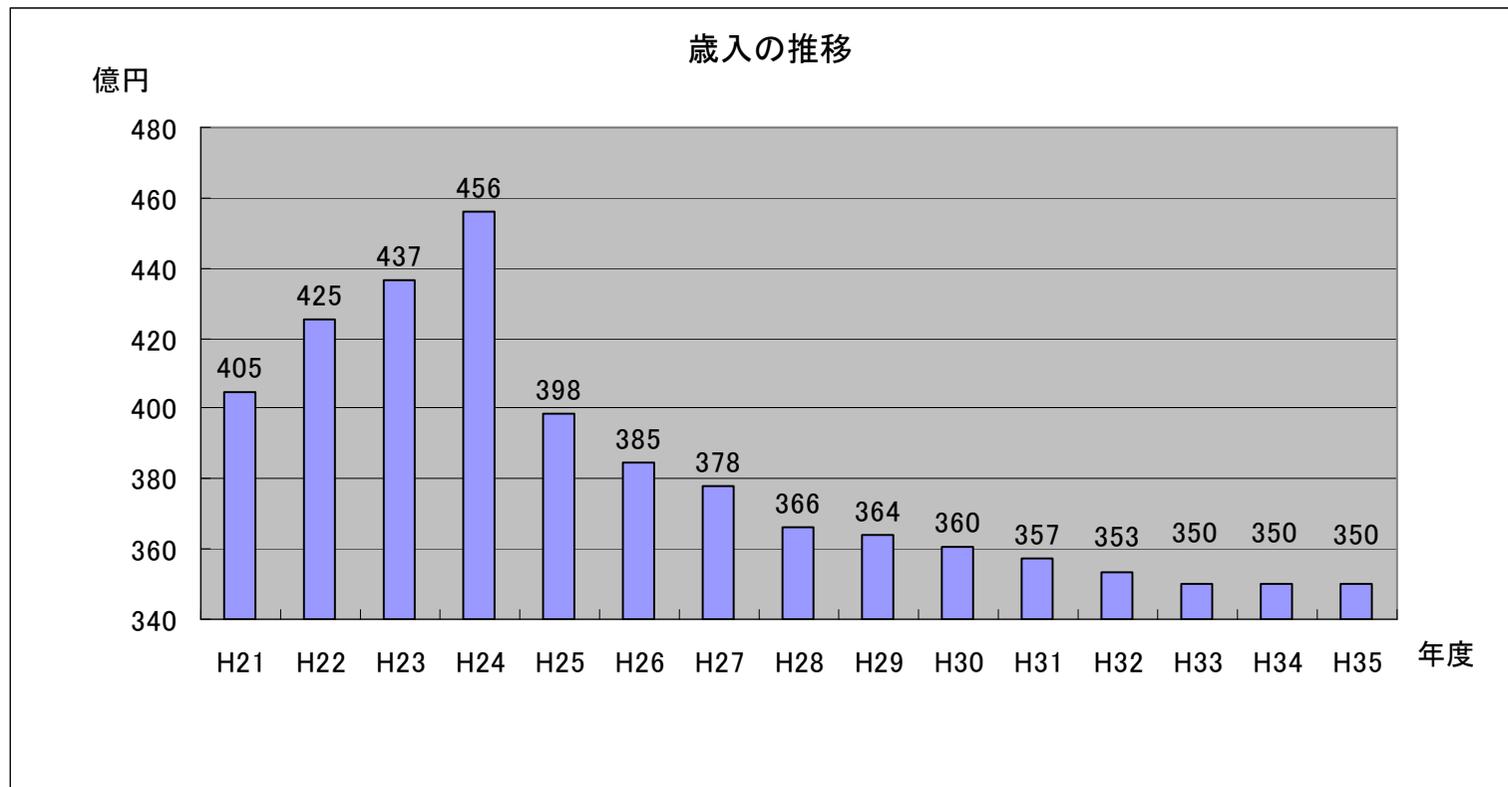
平成24年度から平成35年度まで

■ 算定基礎

- 地方財政状況調査に準じた普通会計ベース
- 平成22年度は実績額、平成23年度は9月補正予算後現計予算額、平成24年度以降は特殊事情を考慮、一定の伸びを想定
- 収支差引が黒字の場合は市債発行額を減額、赤字の場合は財政調整基金を取り崩し

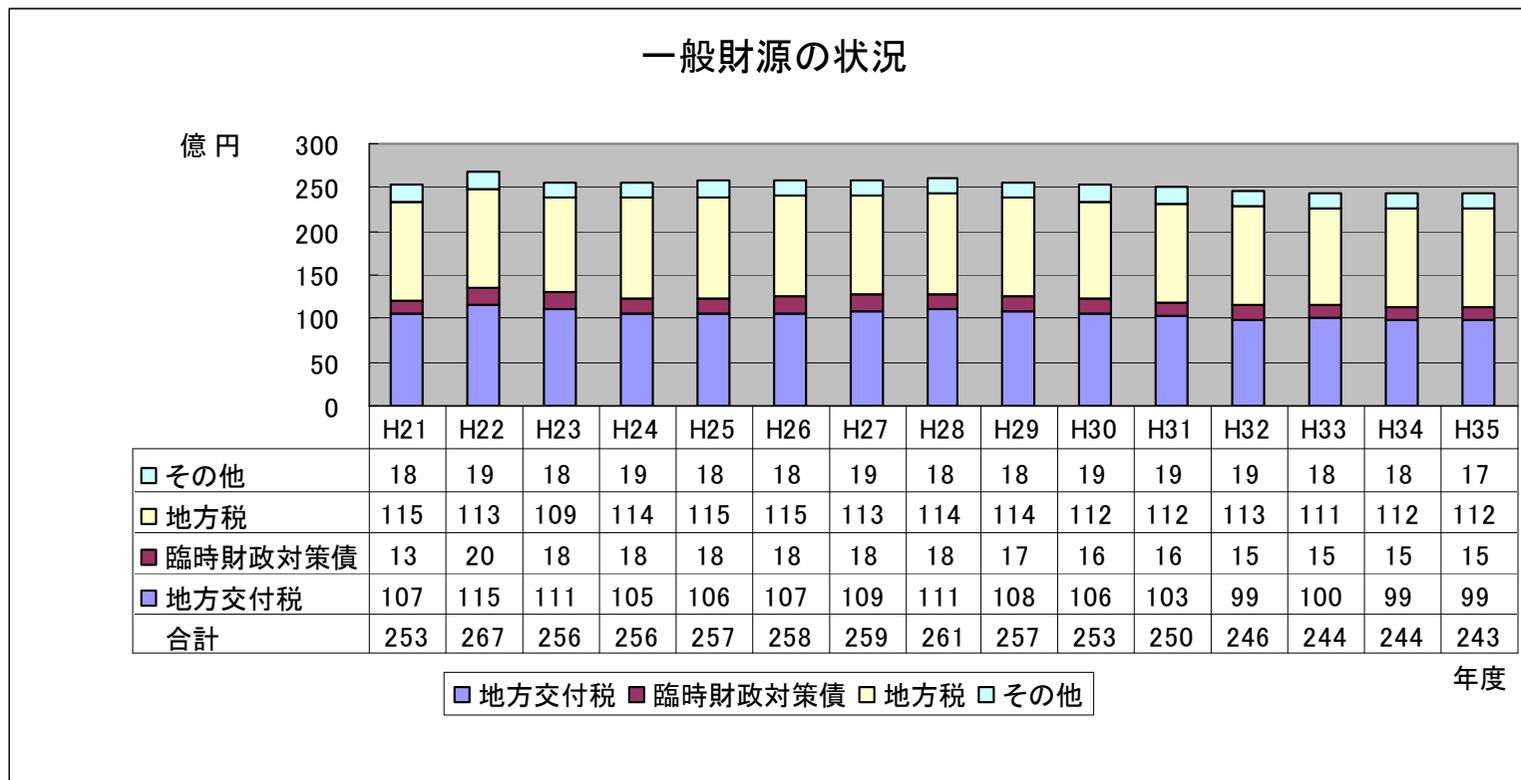
2 歳入の推移

- 平成24年度は、第三セクター等改革推進債を発行するとして歳入総額は456億円で最大、以後減少傾向



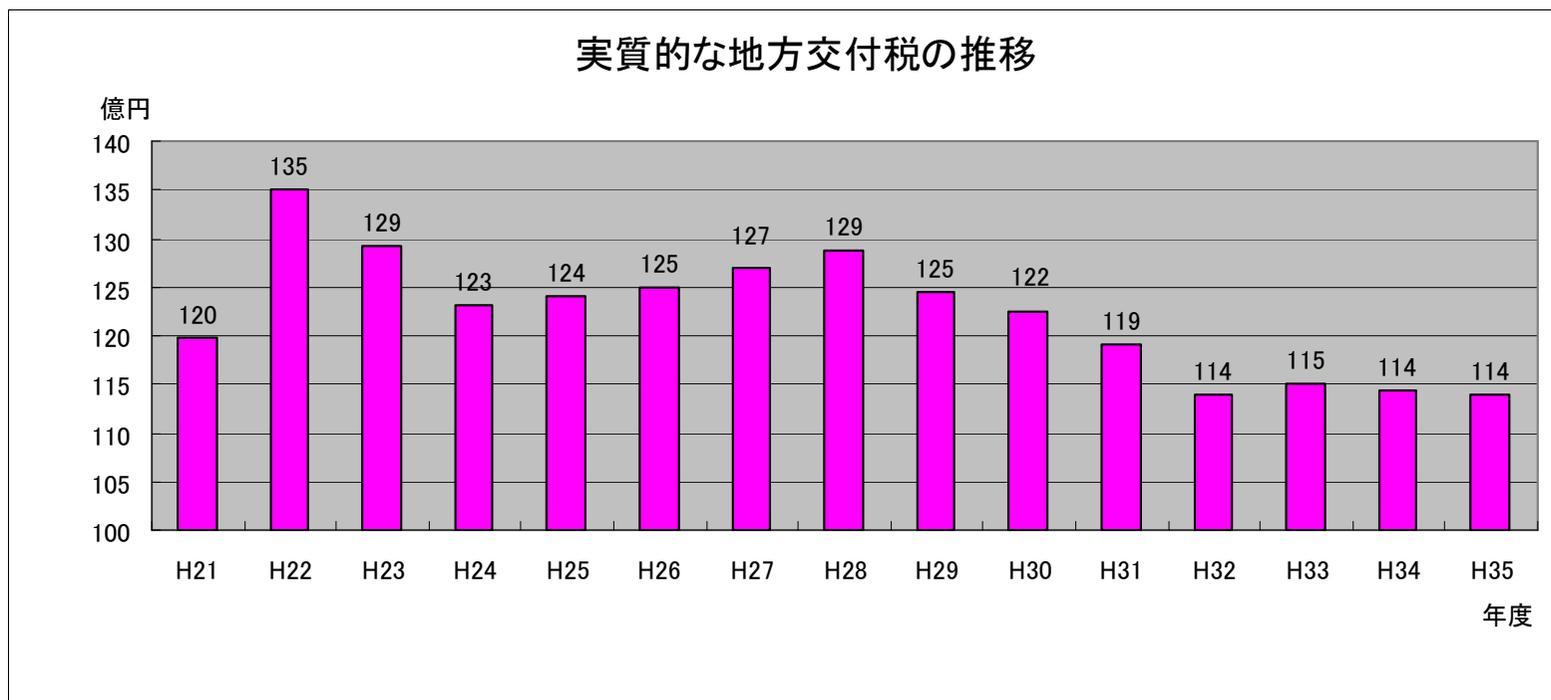
3 一般財源の推移

- 一般財源総額は平成28年度の261億円をピークに減少



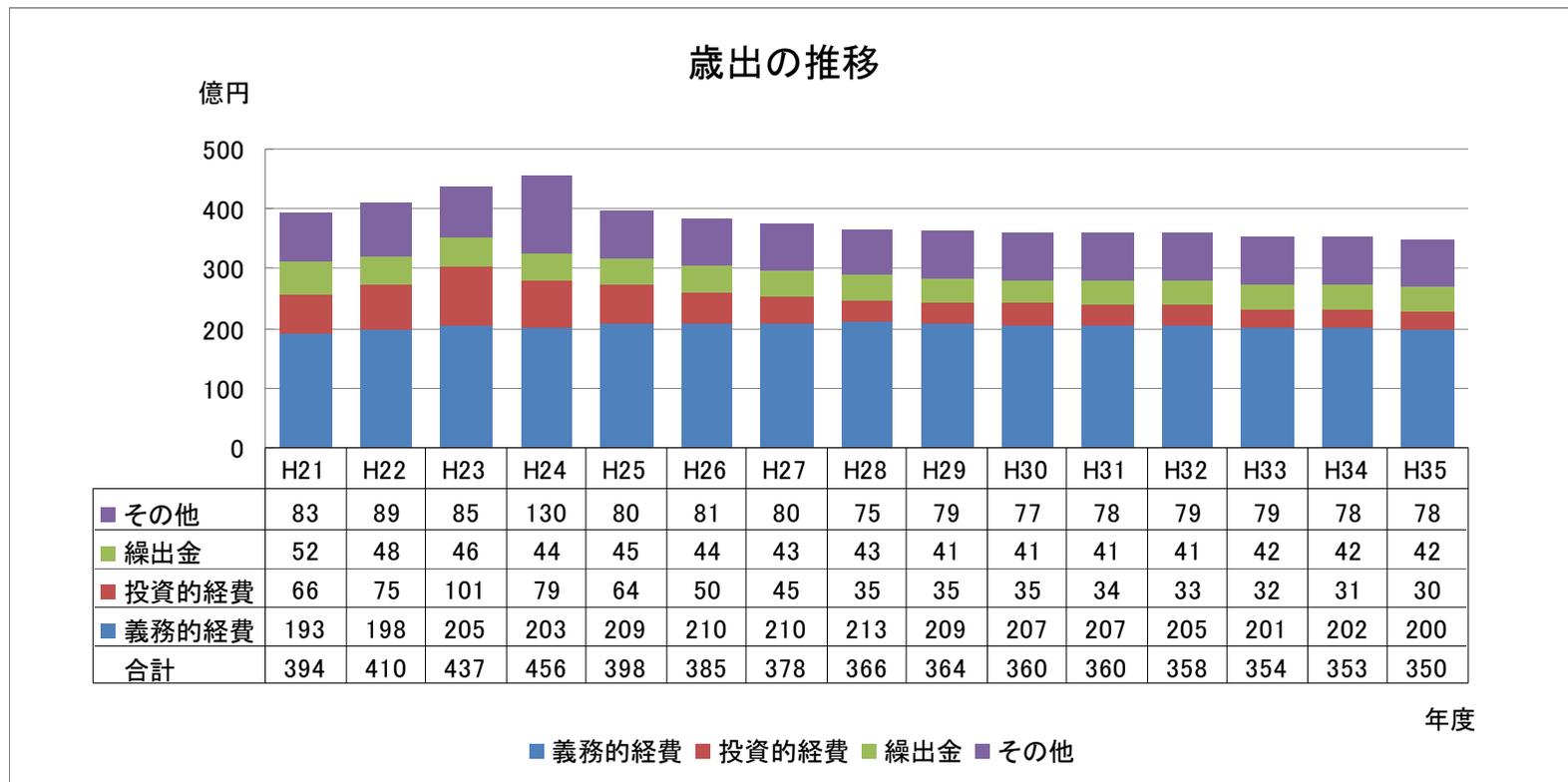
4 実質的な地方交付税の推移

- 臨時財政対策債を加えた実質的な地方交付税は平成**33**年度に一本算定へ移行するため平成**28**~**32**年度に段階的に縮減
- 合併特例債等の発行による基準財政需要額(公債費)の増加により、削減額は圧縮(平成**33**年度と平成**27**年度比較で**12**億円)



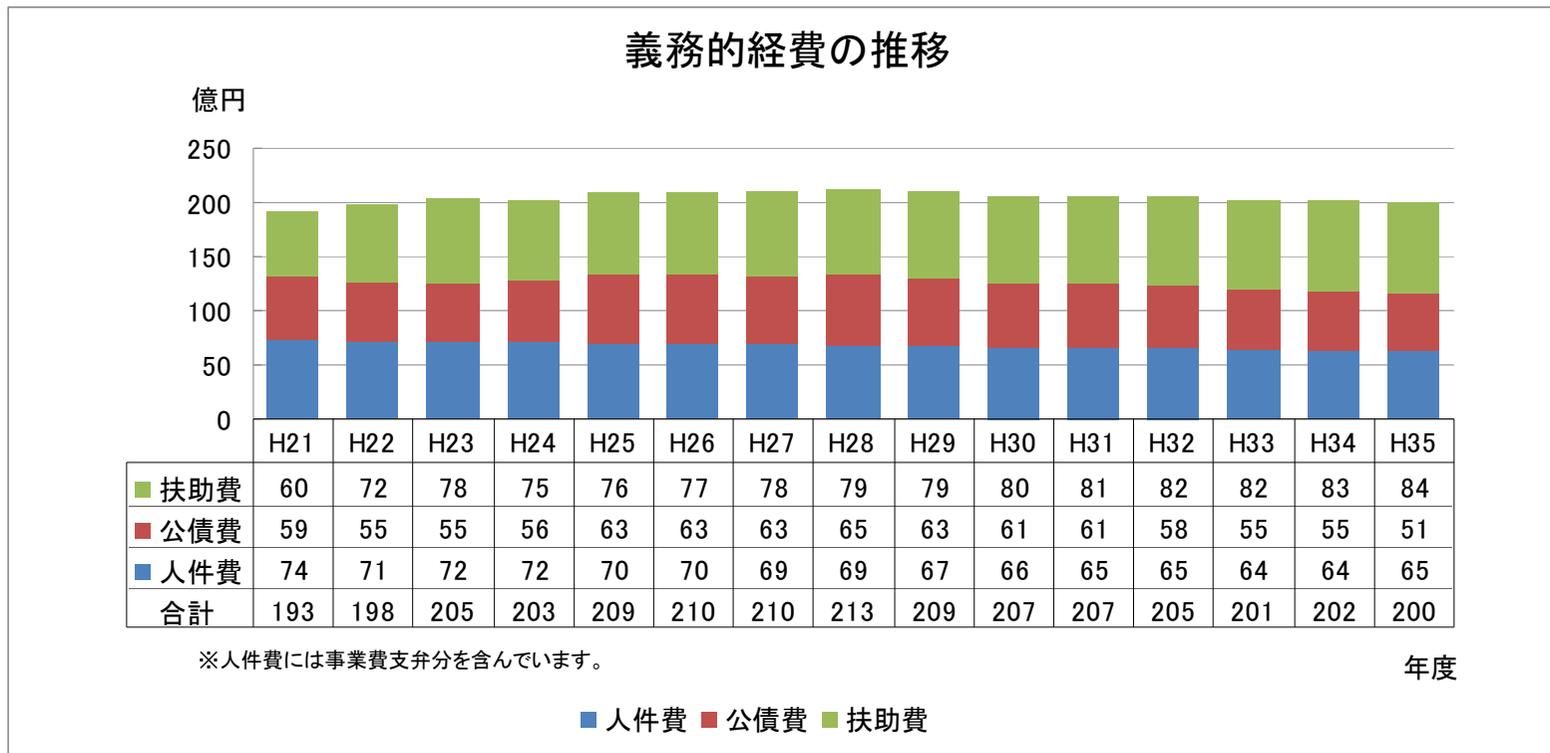
5 歳出の推移

- 合併特例期間終了後の投資的経費の縮減に伴い徐々に減少
 - ・平成24年度は土地開発公社の債務の解消に係る補償費の支出で増大



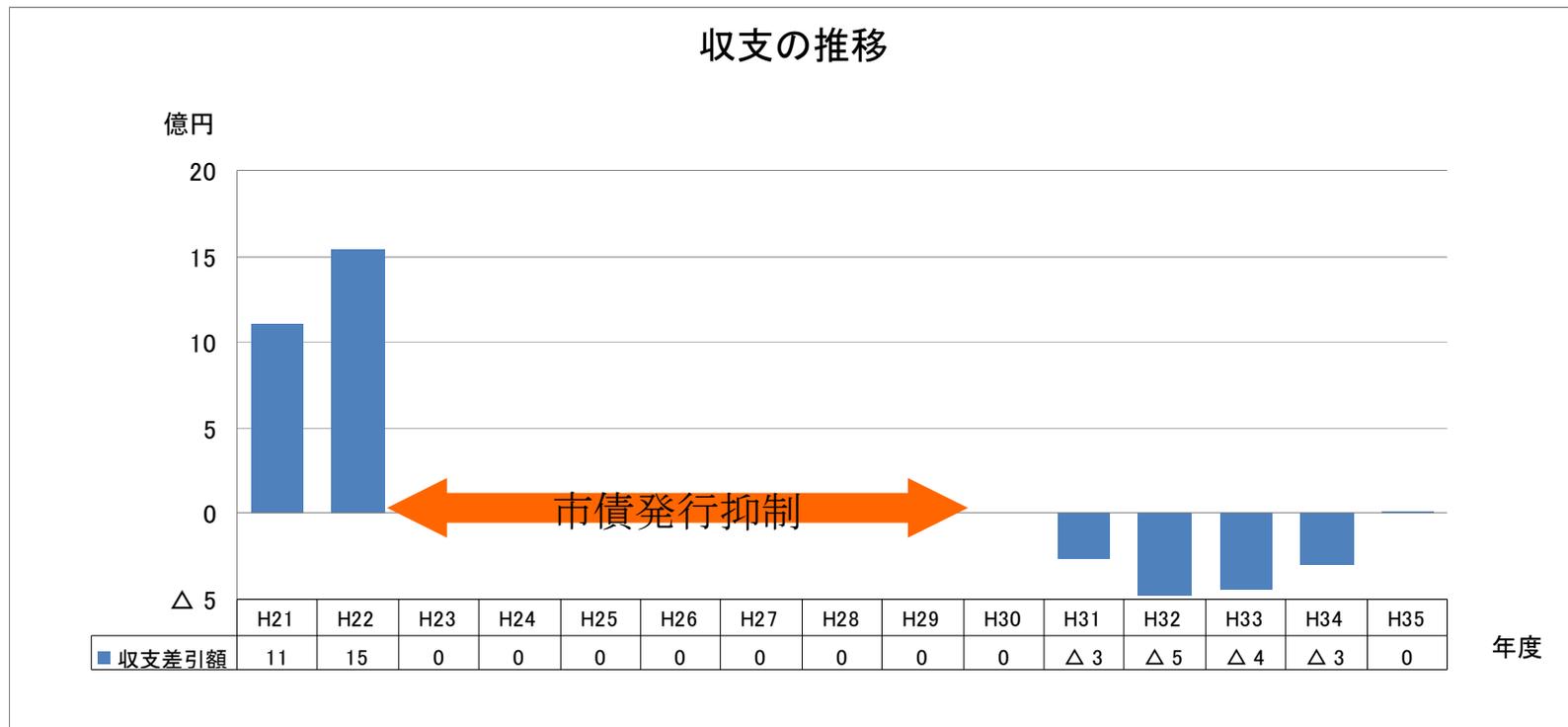
6 義務的経費の推移

- 人件費は徐々に減少
- 公債費は平成28年度をピークに徐々に減少
- 扶助費は年々増加傾向



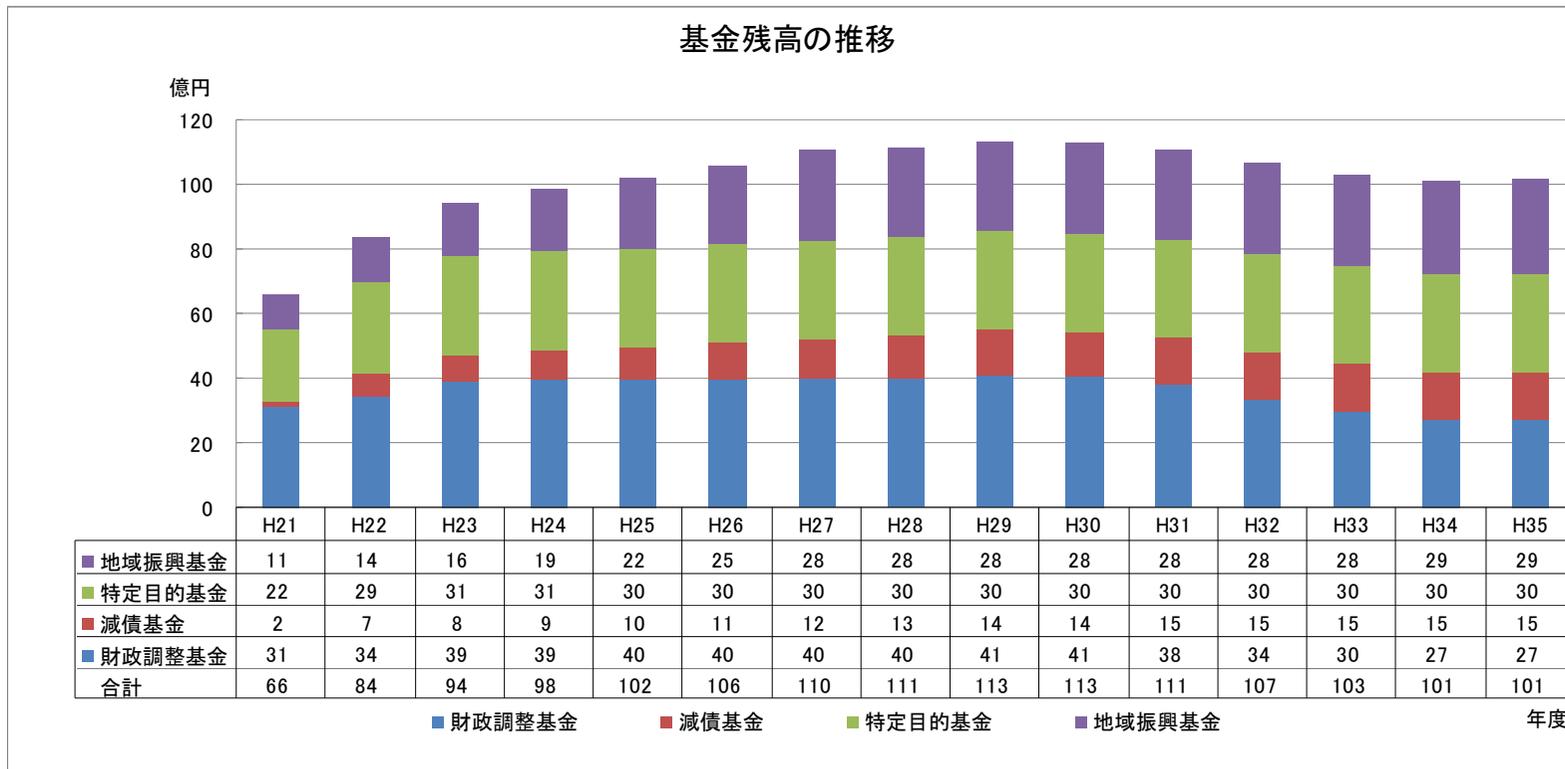
7 収支状況の推移

- 平成24年度～平成29年度までは黒字 (市債発行抑制により収支ゼロ)
- 平成30年度～平成34年度までは赤字 (財政調整基金繰入で措置)
- 平成35年度には収支が均衡



8 基金残高の推移

- 基金残高は平成30年度に最大の**113**億円
- 平成31～34年度までは収支不足により財政調整基金から繰入れ



9 市債残高の推移

- 第三セクター等改革推進債の発行により平成**25**年度にピーク
(**591**億円)
- 平成**26**年度以降は減少し、平成**35**年度には**368**億円に減少

